

第 2 回

エコデザインおよびインバース・マニュファクチャリング
に関する国際シンポジウム

*Second International Symposium on
Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing
(EcoDesign 2001)*

プログラム概要

会 期：2001年12月11日(火)～15日(土)

会 場：東京ビッグサイト 会議棟

主 催：エコデザイン学会連合

共 催：IEEE CS TCEE, USA, CARE Electronics, Europe
日本科学未来館

後 援：(社)産業環境管理協会
日本経済新聞社

シンポジウム委員長：吉川 弘之 (日本学術会議 会長)

組織委員長：山本 良一・木村 文彦 (東京大学)

Diana Bendz (IEEE CS TCEE/IBM)・John Ehrenfeld (ISIE)

実行委員長：須賀 唯知 (東京大学)

参加登録事前締切：2001年11月21日(水)

EcoDesign 2001 事務局：(財)日本学会事務センター内

連絡先：東京都文京区本駒込 5-16-9(〒113-8622), Fax:03-5814-5845, Tel:03-5814-1430

E-mail: haraki@bcasj.or.jp /nuehara@bcasj.or.jp/ ecodes2001@bcasj.or.jp

URL:<http://www.bcasj.or.jp/EcoDesign/>

EcoDesign 2001: Second International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing

(第2回エコデザインおよびインバース・マニュファクチャリングに関する国際シンポジウム)

1. 会議の名称:

- 日本語名: 第2回エコデザインおよびインバース・マニュファクチャリングに関する国際シンポジウム
- 英語名: Second International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing
- 略称: EcoDesign 2001 (和文名: エコデザイン 2001)

2. 主催・共催:

- 主催: エコデザイン学会連合 (幹事団体: エレクトロニクス実装学会)
- 共催: *Going Green: Global Collaboration with:*
IEEE Computer Society, Technical Committee on the Electronics and Environment (IEEE CS TCEE), USA
CARE Electronics, Europe
日本科学未来館

3. 開催期間: 2001年12月11日(水)~15日(土)

4. 開催場所: 東京ビッグサイト会議棟(エコプロダクト展と同時開催)

交通: JR,地下鉄「新橋駅」よりゆりかもめ線「国際展示場正門」(21分)下車、徒歩数分。

JR,地下鉄「新木場駅」より臨海副都心線「国際展示場」(5分)下車、徒歩数分。

5. 会議の目的と性格:

環境技術は、技術的側面のみならず社会システムに関わる問題であるため、現在さまざまな学協会、あるいは工業会がそれぞれに独自の活動を行っています。しかしながら、環境技術は、あらゆる製造技術、社会システム、ライフサイクル設計にまたがった学際的、産業横断的性格を持っており、日本独自の社会システムをベースにした循環型社会の実現、環境ビジネスとしての展開などのためには、関連の学協会、工業会が協力し、環境コンセプトと基盤技術の海外への発信を行う必要があると考えられます。こういった背景から、エコデザイン学会連合の設立を行うとともに、この学会連合が中心となって、定期的に国際会議を開催することが特に重要であると考えられます。国内の環境問題への取り組みを世界へアピールするとともに、海外からの参加者とのディスカッションの場とすることを目的としております。最新の研究、開発結果と情報交換、国際的な知見の確立と21世紀の循環型社会システムへの新提言、新技術、新ビジネスへの可能性を探求する有意義な機会となると存じます。

6. 会議開催の経緯:

1999年2月1日~3日に開催された国際シンポジウム EcoDesign'99では、多くの関連学協会・工業会のご協力を得、環境調和型製品設計に関するコンセプトと基盤技術に関する200編を超える講演と500人近い参加を国内外から得て盛会のうちに終了することができました。この成果は、海外でも大きな反響を呼び、わが国の環境技術をベースにした横断的な研究発表の国際的な場として、世界的にも認知されました。これを受けて、50余の学協会の情報交換のネットワーク、「エコデザイン学会連合」が設立されました。関連学協会の協力と、早くから、この分野での取り組みを行っている Internatioanl Symposium on Electronics and the Environmrnt, IEEE,USA および CARE Electronics, Europe と *Going Green: Global Collaboration with* の標語の下に、昨年9月、ベルリンでの国際会議「Electronics Goes Green 2000+」に続いて開催するものです。

7. シンポジウム開催内容

1) 日程: 2001年12月11日(火)~15日(土)

12月11日(火): テクニカルツアー

12月12日(水): 9:00~12:00: チュートリアル(講習会); 詳細後掲(p.9)

12月12日(水): 13:30~ EcoDesign2001 開会式、特別講演、一般講演

12月13日(木)~15日: 特別講演、招待講演、特別セッション、一般講演、ポスター発表、優秀論文賞・ポスター賞発表、閉会式

会議全体のスケジュール、セッション構成は、PROGRAM OVERVIEW [5-8頁]をご覧ください。詳細は、英文ブ

ロラム (Advance Program) があります。ご希望の方は、事務局へご連絡下さるか、ホームページをご覧ください。

2) 会議の構成

(1) 論文数: 260

特別講演; 4件 (5~8および9頁参照、7階 国際会議場にて)

Keynotes; 10件, Invited Papers; 10件, 一般講演; 220件: 6パラレルセッション (6階 会議室6室)
ポスターセッション; 16件 (展示: 6階会議室、ポスターセッション: 6階ロビー予定)

(2) 主要テーマ

・カテゴリー A: 環境調和型製品設計 (Environmentally Conscious Products Design)

A-1) ライフサイクルデザインおよびデザイン戦略

A-2) エコデザインの方法論、エコデザインツール

A-3) 要素設計技術 (環境配慮型設計、リユース性設計、保全性設計、リサイクル性設計、易分解性設計、省エネルギー設計など)

A-4) 開発事例

[カテゴリー A 担当幹事: 山際康之 (ソニー(株)) 益田文和 (東京造形大 / オープンハウス)]

・カテゴリー B: プロセス技術と要素技術 (Process Technologies and Elemental Technologies)

B-1) エコマテリアル

B-3) クリーナープロセス、省資源・省エネ技術

B-2) メンテナンス

B-4) 長寿命材料

[カテゴリー B 担当幹事: 原田幸明 (物質・材料研究機構) 米田泰博 (株富士通研)]

・カテゴリー C: 逆工程技術 (Inverse Process Technologies)

C-1) システムデザイン

C-3) 廃棄物処理技術、分解・選別技術

C-2) リユース技術、リサイクル技術 (戦略と新技術)

[カテゴリー C 担当幹事: 大和田秀二 (早大) 土屋勝 (松下電子部品(株))]

・カテゴリー D: 循環型ビジネスシステム (Business Strategies)

D-1) 環境調和型社会システム / ビジネスシステム構築のための共同戦略

D-2) 再資源化 / 素材生産とサービス工学 [カテゴリー D 担当幹事: 富山哲男 (東大) 中村慎一郎 (早大)]

・カテゴリー E: 循環型社会システム (Sustainable Social Systems)

E-1) 社会システムデザイン

E-4) 循環ロジスティクス

(ソサエター、基盤整備、都市計画) E-5) グリーン購入

E-2) 環境ラベル

E-6) 環境会計

E-3) 環境教育

E-7) 環境評価

[カテゴリー E 担当幹事: 山本英明/関 進 (キャノン(株)) 坂村博康 (日本セラミック協会)]

・カテゴリー F: 環境調和型マネジメント (Environmentally Conscious Management)

F-1) サプライチェーンマネジメント

F-4) ライフサイクル評価

F-2) ライスサイクル マネジメント

F-5) 管理システム設計

F-3) 環境管理システム

[カテゴリー F 担当幹事: 稲葉 敦 (産業技術総研) 河西純一 (いすゞ自動車(株))]

特別セッション: Special Themes

・ファクター 10 (Special Theme 1: Factor 10)

オーガナイザー: 山本良一 (東大)

・環境適合設計 DFE の普及 (Special Theme 2: Promotion of DFE: Development for Environment)

オーガナイザー: 尾見信三 (東京農工大)

・インダストリアル エコロジーとエコデザイン (招待講演: Special Theme 4: Industrial Ecology)

オーガナイザー: 須賀唯知 (東大)

・製品のリサイクル - 現状と将来 (Special Theme 5: Recycling of Individual Products (Current and Future))

オーガナイザー: 木俣信行 (鳥取環境大) 三枝信雄 (日産自動車(株)) 横山賢一 (株情報ソリューション)

・鉛フリーはんだの研究動向 (Special Theme 6: Research Trends in Lead-free Soldering)

・エコデザインと化学工学 - 化学工学会による編成 (Special Theme 8: EcoDesign and Chemical Engineering)

オーガナイザー: 稲葉 敦 (産業技術総研) 溝口健作 (静岡大) 森 滋勝 (名大)

・エレクトロニクス実装における先端技術 - JIEP セッション (Special Theme 9: Advanced

Technology for Electronics Packaging - JIEP Session)

オーガナイザー: 林 秀臣 (株フジクラ)

・低温鉛フリーはんだ (Special Theme 10: Low-temperature Lead-free Solder)

オーガナイザー: 津久井 勤 (東海大)

・IMS 鉛フリーはんだの研究動向 (Special Theme 11: IMS Project on Lead-free Soldering EFSOT)

3) 会議使用言語：英語

4) 参加予定者数：約 500 名

5) 参加予定国：アイルランド、アメリカ、イタリア、イギリス、インド、インドネシア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、韓国、キューバ、シンガポール、スウェーデン、スイス、タイ、中国、台湾、デンマーク、ドイツ、フランス、ベルギー、マレーシア、日本ほか

6) 関連イベント

- (1) テクニカルツアー：主として海外参加者用：12月11日（火）
 コース A：川崎製鉄君津工場ほかリサイクル施設見学
 コース B：ミサワホームほか省エネルギー建物の見学
- (2) ウェルカム レセプション：12月12日（水）：18:30～20:30；会場：会議棟 1 階レセプション・ホール
- (3) Intercommunion Session[交流会]：12月14日（金）：18:00～20:00；
 会場：日本科学未来館 5 階レストラン[5K PLANETS]
- (4) エコプロダクツ 2001 展示会：12月13日（水）～15日（土）：東京ビッグサイト東展示場

7) 参加登録：できるだけ事前登録下さい。（事前参加登録締切：2001年11月21日（水））

(1) 事前参加登録申込：添付の申込書、Advance Program 添付のもの、または web から download して、ご記入の上、事務局あてご送付下さい。E-mail, fax, 郵便のいずれかにて、重複しないようお届け下さい。

(2) 参加費：2001年11月21日まで 11月21日以降/当日

会議参加費：		
共催団体会員 *	¥53,000-	¥58,000-
非 会 員	¥58,000-	¥63,000-
学 生 **	¥ 5,000-	¥10,000-
<hr/>		
交流会参加費（学生、同伴者）	¥ 8,000-	¥10,000-
<hr/>		
チュートリアル（講習会）	¥ 5,000-	¥ 5,000-

* 個人として、共催団体会員、IEEE, CARE Electronics 会員の場合。

** 学生会費には、交流会参加費をふくみません。一般の場合も交流会参加については、選択することが可能です。

8) 参加費支払い方法：

- (1) 銀行小切手：E C O D E S I G N 2001 あてご指定下さい。
- (2) 銀行送金：第一勧業銀行本郷支店：（普通預金）口座番号：2396620（名義）E C O D E S I G N 2001
 送金通知：参加登録書と一緒に送金通知のコピーを添付して申し込まれるか、送金後に送金通知を事務局あて FAX 下さい。
 一括送金をされる場合、会社名で送金される場合は、必ず参加者明細を文書で事務局へご連絡下さい。
 請求書が必要な場合：登録用紙にその旨ご明記の上、お申込下さい。万一送金が会議開催までに終了しない場合は、その旨事務局へご連絡下さい。11月21日までに事務局に申し込まれた登録を事前登録とします。
- (3) クレジットカード：American Express, VISA, Master (UC), Diners

9) 組 織

会 議 委 員 長：吉川弘之（日本学会会議会長、産業技術総合研究所所長）

組 織 委 員 長：山本良一（東京大学国際・産学共同研究センター長）

木村文彦（東京大学大学院工学系研究科教授）

Diana Bendz (IEEE CS TCEE 委員/IBM 役員, USA), John Ehrenfeld (ISIE 代表, USA)

実 行 委 員 長：須賀唯知（東京大学先端科学研究センター教授）

実 行 副 委 員 長：藤本 淳（日本電気(株) 環境技術研究所研究部長）

プログラム委員長：梅田 靖（東京都立大学大学院工学研究科助教授）

10) 参加申込・連絡先：エコデザイン 2001 事務局（[財]日本学会事務センター内、担当：荒木、上原）

Tel: 03-5814-1430, Fax: 03-5814-5845, URL: <http://www.bcasj.or.jp/EcoDesign/>

E-mail: haraki@bcasj.or.jp/nuehara@bcasj.or.jp/ecodes2001@bcasj.or.jp

(お願い) 会議の内容、イベント、参加登録、ホテル予約、会場への交通案内など詳細は Advance Program [英文]にてご確認下さい。上記ホームページでご覧いただけます。Advance Program (印刷物)を希望される場合、会議に関する質問は上記事務局までご連絡下さい。

PROGRAM OVERVIEW
Wednesday, December 12

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Room 6	Poster	
9:00-12:00	Tutorial 1 (A. Stevels) エコデザインビジネス、グリーンマーケット市場の開発と販売	Tutorial 2 (H. Griese, O. Deubzer, J. Mueller, L. Stobbe) エコデザイン製品の評価指標	Tutorial 3 (B. Bras) 工 コデザインのための技術、経済、環境の統合					
12:00-13:30	Lunch							
13:30-13:45	開会式：開会の辞 山本 良一（組織委員長、東京大学）							
13:45-14:25	全体講演 1: The Development and Promotion of the Ecological Rucksacks and MIPS Concept (F.Schmidt-Bleek, Foctor 10 Inst., France)							
14:25-15:05	全体講演 2: Overview of Activities of the EC in the Field of Products and the Environment (M.Onida, European Commission)							
15:05-15:20	Break							
15:20-15:40	A1-1 エコデザイン戦略	A1-2 エコデザイン ケース・スタディ (1)	B1-1 エコマテリアル (1)	C1-1 リユース/リサイクル (戦略と新技術) (1)	F1-1 サプライチェーン マネジメント	ST4-1-1(招待講演) インダストリアルエ コロジーとエコデザ イン(1)		
15:40-16:00								
16:00-16:20								
16:20-16:40								
16:40-17:00		Break					Break	
17:00-17:20								
17:20-17:40								
17:40-18:00		A1-3 エコデザイン ケース・スタディ (2)	B1-2エコマテリアル (2)	C1-2 リユース/リサイクル (戦略と新技術) (2)		ST4-1-1(招待講演) インダストリアルエ コロジーとエコデザ イン(2)		
18:00-18:20								
18:30-20:30	Welcome Reception（東京ビックサイト会議棟 1階，レセプションホール）							

PROGRAM OVERVIEW

Thursday, December 13

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Room 6	Poster
9:20-9:40	A2-1モジュール設計	A2-3エコデザインの ケース・スタディ(3)	C2-1逆工程のシステ ム設計 (1)	F2 環境管理システム	ST1-2 ファクター10	ST4-2-1(招待講演) イ ンダストリアルエコ ロジーとエコデザイ ン(3)	
9:40-10:00							
10:00-10:20							
10:20-10:40	Break						
10:40-11:00	A2-2意匠設計	Break		F2 環境管理システム	ST1-2 ファクター10	Break	
11:00-11:20		A2-4エコデザインの ケース・スタディ(4)	C2-2逆工程のシステ ム設計 (2)			ST4-2-2(招待講演) イ ンダストリアルエコ ロジーとエコデザイ ン (4)	
11:20-11:40							
11:40-12:00							
12:00-13:00	Lunch						
13:00-13:05	エコプロダクツ2001記念シンポジウム ”環境”を基点とした日本経済再生への道 豊かなエコライフに向かってのビジョン 挨拶： 向坂 浩 (社団法人産業環境管理協会副会長)						ポスター準備
13:05-13:20	基調報告：「環境効率向上が経済再生のキーワード」 山本良一 (東京大学国際・産学共同研究センター長)						
13:20-14:00	基調講演：「経済再生を担う環境技術 私の提言」 加藤尚武 (鳥取環境大学学長)						
14:00-14:45	特別講演：「応用エコデザイン ダイナミックな発達の10年」 A.L.N. Stevels (Delft Univ. of Technology, The Netherlands)						
14:45-15:00	Break						
15:00-17:00	パネル討論 コーディネーター：加藤 尚武 (鳥取環境大学学長) パネリスト：小林 陽太郎 (富士ゼロックス株式会社社長) 黒川 紀章 (建築デザイナー) 木本 教子 (評論家・ジャーナリスト)(交渉中) ほか						

PROGRAM OVERVIEW

Friday, December 14

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Room 6	Poster		
9:20- 9:40	A3-1ライフサイクル設計	A3-5エコデザインのケース・スタディ(5)	C3-1リユース/リサイクル(戦略と新技術)(3)	B3-1長寿命材料(1)	E3-2環境会計	ST6-3鉛フリーはんだの研究動向	ポスター展示		
9:40-10:00			Break					Break	
10:00-10:20			Break					Break	
10:20-10:40	A3-2エコデザイン・プロセス	A3-6エコデザインとCADの統合	Break	Break	Break	F3-1 LCA(1)			
10:40-11:00			Break					Break	
11:00-11:20			Break					Break	
11:20-11:40			Break					Break	
11:40-12:00				B3-2長寿命材料(2)					
12:00-12:20	Lunch & Poster Session								
12:20-12:40	Lunch & Poster Session						ポスターセッション		
12:40-13:00	Lunch & Poster Session								
13:00-13:20	Lunch & Poster Session								
13:20-13:40	Lunch & Poster Session								
13:40-14:00	Lunch & Poster Session						ポスター展示		
14:00-14:20	A3-3設計方法論	A3-7エコデザインのための情報共有(1)	C3-3リユース/リサイクル(戦略と新技術)(5)	D3-1環境調和型市場と企業戦略	F3-2 LCA(2)	ST11-3 IMS 鉛フリーはんだプロジェクトEFSOT			
14:20-14:40			Break	Break					
14:40-15:00			Break	Break					
15:00-15:20			Break	Break					
15:20-15:40	A3-4要素設計技術(1)	A3-8エコデザインのための情報共有(2)	E3-1環境教育	D3-2脱物質化のためのサービス化	Break	ST10-3低温鉛フリーはんだ			
15:40-16:00								Break	Break
16:00-16:20								Break	Break
16:20-16:40							Break	Break	
16:40-17:00	交流会(日本科学未来館、7階 レストラン 5 K PLANETS)								
17:00-17:20	交流会(日本科学未来館、7階 レストラン 5 K PLANETS)								
18:00-20:00	交流会(日本科学未来館、7階 レストラン 5 K PLANETS)								

PROGRAM OVERVIEW

Saturday, December 15

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 4	Room 5	Room 6	Poster
9:20-9:40							ポスター 展示
9:40-10:00	A4-1要素設計技術(2)	B4-1メンテナンス	E4-1社会システム設計(1)	E4-3環境ラベルとロジスティックス	ST8-4-1 エコデザインと化学工学(1)	ST2-4-1 環境調和型設計技術の普及促進(1)	
10:00-10:20							
10:20-10:40							
10:40-11:00							
11:00-11:20	Break				Break		
11:20-11:40	A4-2 DfXツール(1)	A4-4 LCAケース・スタディ	E4-2 社会システム設計(2)	ST9-4-1 エレクトロニクス実装における先端技術-JIEP Session-(1)	ST8-4-2エコデザインと化学工学(2)	Break	
11:40-12:00							
12:00-12:20							
12:20-12:40							
12:40-13:00	Lunch						
13:00-13:20	Lunch						
13:20-13:40	Lunch						
13:40-14:00	A4-3 DfXツール(2)	A4-5分解性設計		ST9-4-2エレクトロニクス実装における先端技術-JIEP Session-(2)	ST8-4-3エコデザインと化学工学(3)	ST5-4製品のリサイクル(現状と将来)	
14:00-14:20			B4-2クリーンプロセスと省エネプロセス				
14:20-14:40							
14:40-15:00							
15:00-15:20	Break						
15:20-15:40	Break						
15:40-16:30	全体講演 3: Industrial Ecology -An Important Work-in-Progress (J.Ehrenfeld, MIT Technology, USA)						
16:30-16:45	論文賞、優秀ポスター賞授与式						
16:45-17:15	閉会式：記念講演：Comprehensive Product Modelling for Designing Life Cycle Scenario (木村 文彦,組織委員会Co-Chair,東京大学)						
17:15-17:30	閉会の辞：D. Bendz (組織委員会Co-Chair/IEEE CS-TCEE/IBM, USA)						

Plenary Speakers (特別講演)

Opening Address (Dec. 12, 13:30-13:45)

Ryoichi Yamamoto, *Organizing Committee Co-Chair, The Univ. of Tokyo*

「山本 良一、組織委員長、東京大学」

Closing Lecture (Dec. 15, 16:45-17:15)

Comprehensive Product Modelling for Designing Life Cycle Scenarios

Fumihiko Kimura, *Org. Comm. Co-Chair/The University of Tokyo* 「木村文彦, 組織委員長, 東京大学」

Closing Words (Dec. 15, 17:15-17:30)

Diana Bendz, *Org. Comm. Co-Chair/IEEE CS TCEE/IBM, USA*

Plenary (Dec. 12, 13:45-14:25)

The Development and Promotion of the Ecological Rucksacks and MIPS Concept

F. Schmidt-Bleek, *Factor 10 Inst., France*

Plenary (Dec. 12, 14:25-15:05)

Overview of Activities of the EC in the Field of Products and the Environment

Marco Onida, *DG Environment, European Commission*

Plenary (Dec. 15, 15:40-16:30)

Design 'Sustainable' Products/Service System

John Ehrenfeld, *MIT Technology, Business and Environment Program, USA*

チュートリアル;講習会 (Dec.12, 9:00-12:00 ; 3 コース ; 1 コースを選択下さい。)

Tutorial 1: EcoDesign Business and Green Marketing

1) Integration of EcoDesign into the Business

2) Green Marketing and Sales

Ab Stevels, *Phillips Consumer Electronics/Delft Univ. of Technology, The Netherlands*

Three main drives to do it (customers, legislation, competitive advantage). Several types of 'green' to be considered (scientific green, government green, customer green). The Ecodesign matrix. Three types of environmental activities (defensive, cost oriented, Ptoactive). For levels of Ecodesign vision, strategy policy, roadmap. How to develop green options and how to do business evaluation of them. Integration of green into product creation. Ex of green programmes and.....詳細は、Advance Program、14 頁参照。

Tutorial 2: Applied EcoDesign Product Characterization by Sustainability Indices

Hansjörg Griese, Otmar Deubzer, Jutta Müller, Lutz Stobbe, *Fraunhofer IZM, Berlin, Germany*

Topics: 1) Sustainable Roadmap and EcoDesign in the field of ICT, 2) EE Toolbox methodology for environmentally conscious design
3) Application examples of the EE-Toolbox

The tutorial will be held by specialists of the Fraunhofer, IZM, Dept. of Environmental Engineering (organizer of „Electronics Goes Green 2000+“).
詳細は、Advance Program、14 頁参照。

Tutorial 3: Identifying Economic and Environmental Win-Win Situations in EcoDesign

Bert Bras, *Georgia Inst. of Technology, USA*

Summary of topics: EcoDesign guidelines and strategies and how they affect other design and business requirements,

- Assessment tools like Life-Cycle Costing, Full Cost Accounting, etc. and how they can (or cannot) be used to identify win-win situations in both Product and process design, - How to integrate financial and environmental assessments and monitoring,

- Technologies and tools that support integrated performance assessments and monitoring, - Industrial case studies and examples from Europe, Japan and US.
詳細は、Advance Program、14 頁参照。

委員会名簿

シンポジウム委員長：吉川 弘之（日本学術会議会長）

組織委員会委員長：山本 良一（東京大学）・木村 文彦（東京大学）

委員：

新井 民夫	東京大学	熊谷 信昭	(株)原子力安全システム 研究所	中神 芳夫	産能大学
飯田 孝道	大阪大学	厨川 道雄	産業技術総合研究所	中島 尚正	放送大学
池田 裕	松下電器産業(株)	郡 篤 孝	同志社大学	永田 勝也	早稲田大学
池淵 浩介	トヨタ自動車(株)	小坂橋 洸夫	コニカ(株)	中村 和	キリンビール(株)
石川 好男	(社)科学技術と経済の会	河野 通方	東京大学	中村 亨	(株)明電舎
石田 秀輝	(株)INAX	古賀 剛志	富士通(株)	中山 哲男	(社)産業環境管理協会
石谷 久	東京大学	小澁 弘明	富士ゼロックス オフィスサプライ(株)	名木 稔	(財)クリーン・ジャパン・ センター
泉 旭	(株)ミサワホーム 総合研究所	小林 敏雄	東京大学	二瓶 公志	早稲田大学
市川 章	(社)日本プラント メンテナンス協会	小林 光男	日本アイピーエム(株)	橋爪 伸夫	セイコーエプソン(株)
上田 完次	神戸大学	酒井 達雄	立命館大学	橋本 伊織	京都大学
上野 潔	三菱電機(株)	定方 正毅	東京大学	橋本 和仁	東京大学
内田 裕久	東海大学	眞田 一志	横浜国立大学	花井 嶺郎	(株)デンソー
梅田 富雄	千葉工業大学	佐野 角男	ソニー(株)	馬場 征彦	日本電気(株)
江村 祐輔	キャノン(株)	柴坂 敏郎	神戸大学	浜野 勲	三菱電機(株)
圓川 隆夫	東京工業大学	下井 泰典	(株)東芝	林 秀行	(財)製造科学技術センタ ー
大河内正一	法政大学	庄子 幹雄	鹿島建設(株)	林 佳次郎	(株)イトーキ
大和田秀二	早稲田大学	須賀 唯知	東京大学	東尾 一孝	(株)クボタ
岡嶋 利治	大阪ガス(株)	杉村 和俊	積水ハウス(株)	平井 浩	東京ガス(株)
岡田 隆	三井造船(株)	須田 了	(社)日本工学会	福島 哲郎	(株)日本環境認証機構
岡野 光夫	東京女子医科大学	須田 治樹	凸版印刷(株)	福田 敏男	名古屋大学
尾迫 勉	オムロン(株)	星加 和利	東陶器(株)	古川 勇二	東京都立大学
尾見 信三	東京農工大学	瀬尾 隆史	安田火災海上保険(株)	星野 重夫	武蔵工業大学
香川 利春	東京工業大学	高田 祥三	早稲田大学	前田 正史	東京大学
影山 和郎	東京大学	滝口 孝一	富士ゼロックス(株)	松尾 友矩	東洋大学
桂 宏光	東洋インキ製造(株)	武田 信生	京都大学	溝口 健作	静岡大学
加藤 正名	秋田県立大学	竹本 正	大阪大学	御手洗 顕	シャープ(株)
加藤 壽男	(社)静岡県産業環境 センター	田中 信寿	北海道大学	宮崎 清	千葉大学
上村 鉄雄	文部省 核融合科学研究所	田中 芳則	東洋大学	森 滋勝	名古屋大学
嘉門 雅史	京都大学	谷 達雄	(株)リコー	森口 祐一	国立環境研究所
岸 輝雄	産業技術融合領域研究所	田畑日出男	国土環境(株)	八木 晃一	物質・材料機構
岸田 俊二	日本電気(株)	土屋 裕	(社)日本バリュー エンジニアリング協会	八木 健彦	東京大学
木下源一郎	中央大学	寺門 良二	新日本製鉄(株)	野城 智也	東京大学
木村 達也	NTT アドバンステクノロ ジー(株)	登坂 宜好	日本大学	安井 至	東京大学
木村 照夫	京都工芸繊維大学	富山 哲男	東京大学	大和 愛司	核燃料サイクル 開発機構
		中川 泰夫	日立製作所(株)	渡部 透	立命館大学

実行委員会委員長：須賀 唯知（東京大学）
副委員長：藤本 淳（日本電気株）

委員：

青山 和浩 東京大学		森 滋勝 名古屋大学
安食 弘二 (株)リコー	佐藤 孝夫 (株)リコー	
足立 芳寛 東京大学大学院	眞田 一志 横浜国立大学	門前 兼廣 日本鋳業協会
天谷 賢児 群馬大学	佐野 利男 産業技術総合研究所	八木 晃一 物質・材料研究機構
五十嵐浩也 筑波大学	柴坂 敏郎 神戸大学	材料研究所
泉 佳夫 日本プラント	島田 誠司 オムロン(株)	野城 智也 東京大学
	清水 守 (株)アドバンテスト	安井 至 東京大学
井戸 潔 (有)アイ・ディー・	白井 善久 (財)金属系材料研究	安元 昭寛 (社)科学技術と経済の会
	開発センター	矢部 孝 東京工業大学
		山際 康之 ソニー(株)
伊藤 哲志 トヨタ自動車(株)	菅沼 克昭 大阪大学	山本 治彦 富士通(株)
稲葉 敦 産業技術総合研究所	鈴木 宏正 東京大学	行本 正雄 川崎製鉄(株)
内田 晴久 東海大学	須田 茂 (社)産業環境管理協会	横山 賢一 (株)情報ソリューション
宇野 元雄 (財)地球環境産業	関 進 キヤノン(株)	横山 宏 (株)日立製作所
	関 正雄 安田火災海上保険(株)	吉澤 正 筑波大学
		吉田 敬史 三菱電機(株)
梅田 靖 東京都立大学	竹本 正 大阪大学	米田 泰博 (株)富士通研究所
浦山 隆 立命館大学	津久井 勤 東海大学	渡部 透 立命館大学
大和田秀二 早稲田大学	土屋 裕 (社)日本バリユー	
岡庭憲一郎 コニカ(株)		
小川 康暢 (株)ジェムコ日本経営	土屋 勝 松下電子部品(株)	EcoDesign 2001 幹事学会
尾見 信三 東京農工大学	勅使河原治 日本無線(株)	平田 勝子 (社)エレクトロ
影山 和郎 東京大学	寺尾 禮二 高知エコデザイン協議会	ニクス実装学会
河西 純一 いすゞ自動車(株)	土井 清三 (株)東芝	
桂 宏光 東洋インキ製造(株)	藤内 誠一 (株)森緑地設計事務所	エコプロダクツ 2001 事務局
加藤 雅士 (株)イトーキ	富山 哲男 東京大学	長谷川研二 日本経済新聞社
加藤 悟 東京大学	中島 光雄 三洋電機(株)	盛田 明彦 日本経済新聞社
金井 理 北海道大学	中村慎一郎 早稲田大学	
蒲生 孝治 松下電器産業(株)	名木 稔 (財)クリーン・ジャパン・	
川本 誓文 大阪府産業デザイン	センター	
	橋本 和仁 東京大学	
岸田 俊二 日本電気(株)	林 秀臣 (株)フジクラ	
岸本 亨 日本電信電話(株)	原田 幸明 物質・材料研究機構	
北原 博幸 (株)ダイキン	平島 安人 セイコーエプソン(株)	
木俣 信行 鳥取環境大学	細田奈麻絵 東京大学	
桐山 孝司 東京大学	本多 進 昭栄ラボラトリー(株)	
栗本 洋二 国土環境(株)	馬飼野信一 神奈川県産業技術	
栗山 浩一 早稲田大学	総合研究所	
古賀 剛志 富士通(株)	増井慶次郎 産業技術総合研究所	
小澁 弘明 富士ゼロックス	益田 文和 (株)オープンハウスノ	
	東京造形大学	
	増田 晃二 富士ゼロックス(株)	
小須田徹夫 (株)明電舎	溝口 健作 静岡大学	
小林 光男 日本アイピーエム(株)	皆川 美郷 富士写真フィルム(株)	
小林 英樹 (株)東芝	宮内 敏雄 東京工業大学	
駒谷 進 キリンビール(株)	宮間 伸治 メルテックス(株)	
三枝 信雄 日産自動車(株)	宮脇 伸歩 (株)INAX	
酒井 康一 ソニー(株)	村上 存 東京大学	
坂村 博康 東京大学	村本 孔一 ミサワホーム(株)	
佐藤 勝年 (株)日本環境認証機構		

主催・共催団体一覧

エコデザイン学会連合 加盟団体名簿

正会員団体

(社)エレクトロニクス実装学会
[2001 幹事学会]
IEEE Computer Society Electronics
and Environments Committee
日本委員会
(社)応用物理学会
(社)化学工学会
(社)科学技術と経済の会
(社)可視化情報学会
(社)環境科学会
(社)環境・経済政策学会
(財)金属系材料研究開発センター
高知エコデザイン協議会
(社)色材協会
システム制御情報学会
(社)精密工学会
(社)電子情報通信学会
(社)日本エネルギー学会
(社)日本機械学会
(社)日本金属学会
(社)日本建築学会
(社)日本工学会

(社)日本塑性加工学会
(社)日本デザイン学会
(社)日本鉄鋼協会
(社)日本燃焼学会
(社)日本バリュー・エンジニアリング協会
(社)日本品質管理学会
(社)日本プラントメンテナンス協会
(社)日本水環境学会
(社)日本油空圧学会
(社)溶接学会

準会員団体

大阪府立産業デザイン研究センター
(社)環境情報科学センター
(財)クリーン・ジャパン・センター
国際連合大学高等研究所ゼロエミッション
イニシャティブプロジェクト
(社)資源・素材学会
創成科学フォーラム
炭素材料学会
電気化学会
(社)土木学会
日本学術会議人工物設計・生産研究連絡

委員会設計工学(エコデザイン)専門
委員会
日本学術会議人工物設計・生産研究連絡
委員会生産システム学専門委員会
日本環境倶楽部
日本工作機械工業会
日本自動販売機工業会
(社)日本設計工学会
(社)日本セラミックス協会
(社)日本電機工業会
日本複合材料学会
(社)プラスチック成形加工学会
(社)プラズマ・核融合学会
粉体工学会
(社)粉体粉末冶金協会

後援団体

(社)照明学会
水文・水資源学会
(社)電気学会
(社)日本電子機械工業会
無機マテリアル学会

協力共催団体

インパース・マニファクチャリング
フォーラム
(社)映像情報メディア学会
(社)空気調和・衛生工学会
(社)軽金属学会
(社)計測自動制御学会
高圧力学会
(社)高温学会
(社)高分子学会
産業と環境の会
資源地質学会
(社)地盤工学会
(財)省エネルギーセンター
(財)製造科学技術センター
通信機械工業会
(社)低温工学協会
(社)電力土木技術協会
(社)日本印刷学会
日本応用地質学会
日本開発工学会
(社)日本化学会
(社)日本機械工業連合会
日本計算工学会
(社)日本下水道協会

(社)日本原子力学会
日本高圧力学会
(社)日本工学教育協会
(社)日本ゴム協会
日本コンクリート工学協会
(社)日本材料学会
日本材料強度学会
(社)日本産業機械工業会
日本自然災害学会
(社)日本事務機械工業会
(社)日本生物工学会
(社)日本雪氷学会
(社)日本造船学会
日本太陽エネルギー学会
日本地熱学会
(社)日本鑄造工学会
日本塗装技術協会
(社)日本トライボロジー学会
日本バイオマテリアル学会
(社)日本船用機関学会
(社)日本非破壊検査協会
日本表面科学会
(社)日本フルードパワー工業会
(社)日本分光学会

(社)日本油化学会
日本雪工学会
(社)日本流体力学会
(社)日本冷凍空調学会
日本レオロジー学会
(社)日本ロボット学会
(社)パーソナルコンピュータユーザ
利用技術協会
廃棄物学会
(社)表面技術協会
品質工学会
(社)プレストレスコンクリート技術協会
文化財保存修復学会
(社)レーザー学会

協賛

(社)資源処理学会
(社)名古屋産業科学研究所
日刊工業新聞社
(社)日本自動車工業会
(社)日本溶射協会
(社)有機合成化学協会

送付先：
〒113 8622
東京都文京区本駒込 5-16-9
EcoDesign 2001 事務局 行き
Fax: 03-5814-5845, Tel: 03-5814-1430

E-mail: haraki@bcasj.or.jp/nuehara@bcasj.or.jp
ecodes2001@bcasj.or.jp

第 2 回エコデザインおよびインバースマニューファクチャリングに関する国際シンポジウム

参加登録書

(日本語版, 参加登録申込書, Type A)

* 英文の申込書か本申込書のいずれかでお申込下さい。
重複のないようご注意ください。

事務局用：登録番号：	登録日：
請求書：	支払い；
参加証送付：	注意事項；

1. 氏名： _____ 2. 性別： 男 ・ 女
(Family Name) _____, (First Name) _____ 敬称： Prof. Dr. Mr. Ms.
3. 所属（会社、大学）： _____

_____ (in English)

部： _____ 課： _____
(in English) (in English)

4. 住所： 所属 自宅 〒： _____

_____ (in English)

5. Tel : _____ Fax : _____ E-mail : _____

6. 参加費 (For All Sessions) _____ 2001 年 11 月 21 日まで 11 月 21 日以降 / 当日

会議参加費：

共催団体会員 *	¥53,000-	¥58,000-
非 会 員	¥58,000-	¥63,000-
学 生 **	¥ 5,000-	¥10,000-

交流会参加費（学生・同伴者） ¥ 8,000- ¥10,000-

チュートリアル（講習会）+ ¥ 5,000- ¥ 5,000-

+ 参加希望チェック： Tutorial 1, Tutorial 2, Tutorial 3, 合計： _____ ¥

* 共催団体、IEEE, CARE Electronics 個人会員。 ** 学生参加費には交流会会費は含まれていません。

会議参加費には、会議への参加、論文集、Welcome Reception, Intercommunion Session（交流会）参加費用を含みます。
チュートリアルのみ参加も歓迎します。

7. 支払い方法：下記のいずれかにてご送金下さい。

銀行小切手：E C O D E S I G N 2001 とご指定下さい。

請求書： 要；請求宛先：

銀行送金：第一勧業銀行本郷支店(普通預金)口座番号：2396620(名義)E C O D E S I G N 2001

送金日： 年 月 日 送金元詳細： _____ 送金票のコピーを添付下さい。

クレジットカード： American Express, VISA, Master, Diners

Card Number : _____ Expiry : _____ (month) / _____ (year)

Card Holders' Name : _____ 申込日： _____

Card Holder's Signaturre : _____ 申込者署名： _____

送付先：
〒113 8622
東京都文京区本駒込 5-16-9
EcoDesign 2001 事務局 行き
Fax: 03-5814-5845, Tel: 03-5814-1430

(日本語版, 参加登録申込書, Type B)
* 英文の申込書か本申込書のいずれかでお申込下さい。
重複のないようご注意ください。

事務局用：登録番号：	登録日：
請求書：	支払い：
参加証送付：	注意事項：

E-mail: haraki@bcasj.or.jp/nuehara@bcasj.or.jp
ecodes2001@bcasj.or.jp

第2回エコデザインおよびインバースマニファクチャリングに関する国際シンポジウム

参加登録書

2. 氏名： _____ 2. 性別： 男 ・ 女
(Family Name) _____, (First Name) _____ 敬称： Prof. Dr. Mr. Ms.

3. 所属(会社、大学)： _____

(in English)

部： _____

課： _____

(in English)

(in English)

4. 住所： 所属 自宅 〒： _____

(in English)

5. Tel： _____ Fax： _____ E-mail： _____

6. 参加費 (For All Technical Sessions) _____ 2001年11月21日まで 11月21日以降/当日

会議参加費：

共催団体会員 *	¥45,000-	¥50,000-
非 会 員	¥50,000-	¥55,000-
学 生	¥ 5,000-	¥10,000-

Intercommunion Session(交流会)参加費 ¥ 8,000- ¥10,000-

チュートリアル(講習会) + ¥ 5,000- ¥ 5,000-

+ 参加希望チェック： Tutorial 1, Tutorial 2, Tutorial 3, 合計： _____ ¥

* 共催団体、IEEE、CARE Electronics 個人会員。会議参加費には、会議への参加、論文集、Welcome Reception を含みます。
チュートリアルのみ参加も歓迎します。

7. 支払い方法：下記のいずれかにてご送金下さい。

銀行小切手：E C O D E S I G N 2001 とご指定下さい。

請求書： 要；請求宛先：

銀行送金：第一勧業銀行本郷支店(普通預金)口座番号：2396620(名義)E C O D E S I G N 2001

送金日： 年 月 日 送金元詳細： _____ 送金票のコピーを添付下さい。

クレジットカード： American Express, VISA, Master, Diners

Card Number： _____ Expiry： _____ (month) / _____ (year)

Card Holders' Name： _____ 申込日： _____

Card Holder's Signaturre： _____ 申込者署名： _____